

会 場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室

出席委員：新野・渡辺(丈)・石田・佐藤・三宮・川口・久我・武本・渡辺(五)委員...9名

事務局：押見事務局長 桑原主任 木村

オブザーバー：早川所長

視点第 16 号について

- ・ 修正があれば、24 日までに事務局へ連絡。
表紙：市と県の写真を入れ替える
 コンテンツの文字を大きく
 33 回の表題を変更
中面：33 回定例会の表題「3 件に質疑が集中」に変更
 33 回定例会の 3 件の事項の題をひとまわり小さく
 事象については、日付を記載したほうがいい
 32 回定例会の開催場所が記載ミス
裏面：字句の単純な記載ミスは修正する
 5 月の定例会開始時刻は午後 7:00 ~ に変更

視察について

- ・ 行き先は、アンケート集計の一番多かった福井に決定。
- ・ 時期は 6,7 月に決定する。いちおう 9 月か 10 月のいずれかで決める。
- ・ アンケート集計結果は次回定例会に配布。

第 34 回定例会について

- ・ 3 月の定例会の直後に日経新聞が定期点検を止めるという報道をして、それは事実と違うというようなことがあった。定期点検に対して、地元として何を望むか等の議論も、時間があるようならしてもいいのではないか。
- ・ 国の検査をはずして、電力会社の自主検査に任せようという動きがあるらしい。それでいいのかという議論を委員同士でする必要があるのではないか。裏づけがあれば、そういった提案もいと思う。
- ・ 結論として定検をはずさないでほしいということで、みんなが一致できるのであれば、それを議論して訴えていくというのも大事なのではないか。
- ・ ハフニウムの亀裂の表現についての議論をすべきではないのか。
- ・ 表現もそうだが、写真を提示してもらう必要があるのでは。
- ・ 亀裂の状態をわかりやすく、スライド等で示してもらいたい。現状を目に見える形で出してもらう。
- ・ 再循環配管のほうの話もまだ乾いていない。
- ・ 前回定例会では、316 と表現したが調べたら 316L だった。説明がお粗末なのでは。
- ・ ハフニウムに関しては 4 月いっぱいでお答えするというところだから、次回定例会には間に合わないが、経過報告が聞けるようなら聞くべき。
- ・ 制御棒の問題に関して、他で問題にならないのが不思議。

- ・ 電磁界の件は、4月の定例会には間に合わない。(雪等で)
- ・ 内部で議論しようという意見もあったのではないかな。
- ・ 前回以降の動きの中で、中間報告と経過報告を出してくるだろうが、結論的なものはないだろうから、それはそれで止めておいて、その後、委員同志の意見交換。あと写真を提示してもらうので、事象に対してどんな表現が妥当なのかという議論もありえる。
- ・ ISO取得のための経緯を聞かせてもらいたい。
- ・ 正式には次回の議題にはあがっていないが、ISOと定検については、議論の中で提案してもらい話題にしておいて、次回答えてもらってもいいのではないかな。
- ・ 県が単独で立ち入り調査をしたが、今回だけなぜ単独だったのかということを知りたい。

第35回定例会について

- ・ 5月の定例会は積み残しで時間がうまるのでは。
- ・ ハフニウムは4月中に答えを出すというような話だったので、5月の定例会には間に合うのでは。
- ・ 委員間で感想をいいあってもいいのではないかな。

その他

➤ 会長より

- ・ 3/27に第2回の保安院の広報公聴活動についての会議がある。できれば地域の会の委員の意見も聞きたいということだった。
- ・ NISA通信について、少し慎重な書き方をしているように思った。
- ・ 保安院も東電と一緒に信頼を回復しようとする努力をするべきだと思うが、その辺が少し認識不足なのでは。
- ・ 保安院の側としては、これまでと比べればかなり変わったという認識でいるようだが、一般住民の見方と比べると温度差があるように思う。
- ・ 保安院はやはりブレーキ役かもしれないが、こういうことだから安心だという広報はしていくべきだと思う。
- ・ 不信感をもたれているのは、東京電力だけではないという認識を持ってもらいたい。